# 第4回公募

# 現代造形をアートハウスおやべ

10時—17時 2023年4月15日〈土〉 — 5月2日〈日〉





# ご挨拶



小矢部市長<br/>**桜井 森夫** 

「第4回公募 アートハウスおやべ現代造形展」の開催に当たり、ご挨拶を申し上げます。この公募展は、年齢・経歴・国籍を問わず、全国から広く作品を募集しており、今回はコロナ過で中止していたインスタレーション部門を4年ぶりに募集しました。4I 都道府県より359点の作品が出品され、アートハウスおやべが文化・芸術、とりわけ現代の美の交流拠点としてふさわしい全国公募展を開催できますことは、誠に喜ばしく意義深いことです。

今後も、本公募展を契機として様々な文化芸術の交流を繋ぐ取組を展開してまいりたい と考えています。何とぞ関係各位の一層のご支援とご協力を心からお願い申し上げます。



北日本新聞社社長 **蒲地 誠** 

「この作品は一体なんなの?」「これは本当にアート?」「何を伝えたいのですか?」。 毎回?マークが渦巻く現代美術の公募展「アートハウスおやべ現代造形展」が、待望の2年ぶり開催です。

今回も"クセの強い"作品が会場で待ち受けていることでしょう。現代美術では、作品を鑑賞して感想を持つことで、そのアートが完成するともいいます。感想が疑問形であってもかまいません。それが探求や想像、発見につながっていけば、結果的に素晴らしい出合いだったことになります。

北陸と東海がクロスする小矢部の地で、本展をきっかけに芸術文化の交流が進み、 新しい美の空間が創造されることを願ってやみません。



第4回公募アートハウスおやべ 現代造形展実行委員長

埴生 雅章

この展覧会は、全国から作品を募集し新鮮で多様な現代造形の姿を紹介すること、 全国各地と結ぶ新たな美の交流をつくりだすこと、優れた作家には作品発表の場を提 供するなどの支援を行い造形文化の振興を図ることをねらいに開催するものです。

応募条件は国籍、年齢、経歴を問わず、部門は平面、立体、インスタレーションの 3区分とし、自由で開かれた展覧会をめざしています。4回目となる今回は、コロナ対 策のため前回できなかったインスタレーション部門も募集し、総数 359 点の作品から 厳選された個性豊かな作品 35 点を展示する展覧会となりました。

作品を寄せていただいた全国の作家の皆様、そして、この展覧会の開催にご支援、 ご協力いただいた関係の皆様に深く感謝申し上げます。今後も2年に一度開催してまい りますので、引き続き各位のご支援をいただければ幸いです。

# 審査員



島 敦彦

国立国際美術館館長 1956年富山県生まれ。富山県 立近代美術館、国立国際美術 館、愛知県美術館、金沢 21世 紀美術館で勤務後、現職。現 代美術を中心に、展覧会を企 画すると同時に、近年はダンス や演劇などパフォーミングアー ツの現場にもできるだけ足を 応募作品は全国各地から寄せられたが、今回は 従来の表現分野よりも、屋内外のインスタレーション作品に注目が集まった。感染症、戦争、地震など、 周辺環境の激変が、出品作にさまざまな影響を与えたに違いない。感覚を研ぎ澄ますのみならず、主題 や手法を丁寧に見直し、制作の背景にある思考においても、さらなる検証と更新を期待したい。



麻生 恵子

富山県美術館学芸員 富山県出身

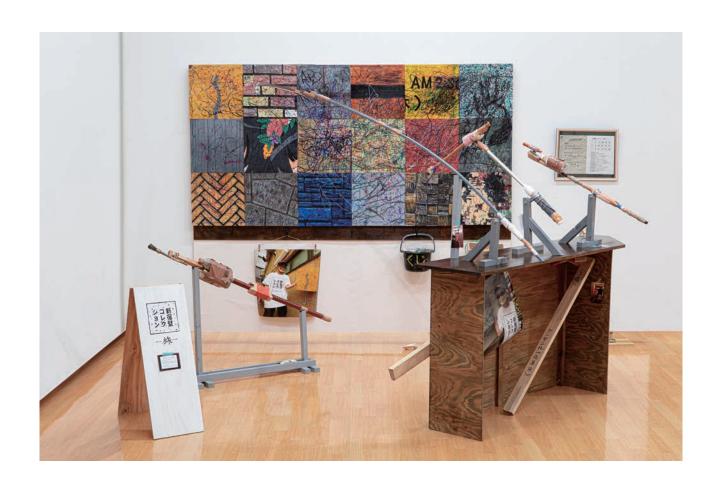
1992年から富山県の美術館の 学芸員として、国内外の現代 美術を中心とした展覧会、およ び教育普及活動の企画に携わ る。現在、富山県美術館普及 課長。 今回の「アートハウスおやべ現代造形展」は、コロナ禍から収束の兆しのある時期での開催となりました。公募の作品は、時勢を映し出したものや内面を見つめるものなど、個性あふれる作品が多く見受けられ、審査はたいへん難しいものでしたが、作品の造形的な側面や技術的な精度以上に、作品に内在する個々の表現の強さを持っている作品、批評的な魅力がある作品を評価しました。惜しくも入選を逃した作品も含め、新しい視点や創作の魅力を伝える作品に出会えたことはたいへん嬉しいことでした。本展の成功をお祈り申し上げます。



内呂 博之

ポーラ美術館学芸員 富山県黒部市出身 ポーラ美術館は印象派の絵画 を中心に約 I 万点のコレクションを有する。近年は現代美術の収集、展示にも注力している。また、2017年からは若手芸術家の作品を紹介する個展形式の展覧会を開催している。 第4回となる今回の公募は、ウィズ・コロナと呼ばれる状況下での開催となりましたが、いまだ収束が見えないコロナ感染の収束と、パンデミックによって制限された自由な行動の復活を希求する作品が数多く集まったように思いました。

入選および入賞を選ぶことは困難をきわめましたが、豊かな感性に満ちたレベルの高い作品によって 展覧会を開催できることは審査員として大変嬉しく 思っています。是非、アートハウスおやべにお運び ください。



### 園部 惠永子

そのべ ええこ

新宿壁コレクション - 旅 - (インスタレーション)

アクリルガッシュ、ペン、パネル、木材

作家が描いた新宿の各所の壁の絵の上に、手製の柄の長い筆「グングニル」を使い、新宿のバーを訪れた客がドローイングを加えていくという参加型の作品。バーのカウンターに設置されたグングニルが屋台の射的のような遊戯性を感じさせ、筆の扱いにくさから生まれる不自由な線が無機質の壁に浮立って生き生きとした表情を見せる。不特定多数の訪問者(参加者)による無邪気な行為が、新宿を拠点とする作家の制作物に対して無秩序に絡み合うという構造は、多様な文化が複雑に交差する新宿の街の縮図ともいえるだろう。描くことによってこの街の複雑で不可思議な日常を追体験できる、非常に斬新な作品である。



### 中井輪

なかい りん

絵画と映画の融合
- 「タブロー」に内在する外の観点から - (インスタレーション)

油彩、キャンバス/映像(3分)

映像の中に登場する3人の男女が、絵画の中に描かれている。絵画を見る人はおそらく、それが映像の中の一コマであろうと予測するが、その予測を裏切るように映像の中にその場面は存在しない。映像を見ると、人物の姿勢や動作は予期しがたく、日常的な動きのようでありながら計算されたナンセンスな動きが散りばめられており、起承転結を度外視した永遠に終わることのないストーリーが展開されている。

ー場面の永遠性をとどめた絵画と、流動的、劇場的な映像といった逆のベクトルで存在するものを同じ作品にまとめているというのがおもしろく、つい見入ってしまう魅力にあふれている。



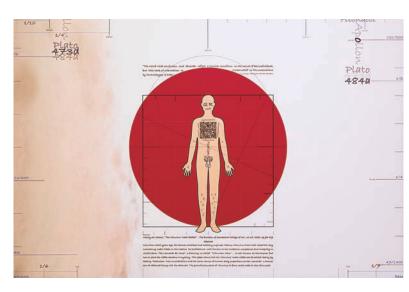
# 古屋 真美

ふるや まみ

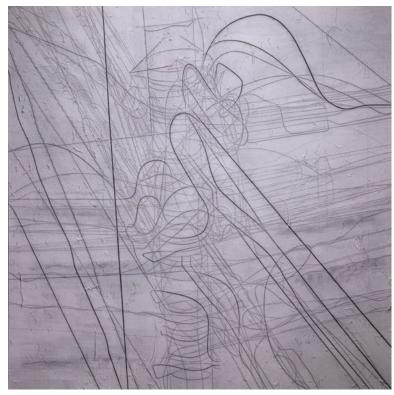
確かめている (インスタレーション) リトグラフ、雁皮紙、ハンガー、 テグス、クリップ 版画の中でもドローイング性の強いリトグラフの手法を生かし、様々な形態の衣服を白と黒だけで素早い筆致で描いているが、衣服の質感やボタンの形状なども巧みに表現されていて、ドローイング技術の高さの分かる魅力的な作品である。物干し竿に衣服を吊るすかのように展示され、これまでの版画の見せ方とは異なる方法で版画の世界を開放しようとする意図も感じる。これまで衣服を着用してきた個人の記憶や、衣服に刻み付けられた様々な過去が想起される特異な空間を生み出している。

また、同じものを量産できるという版画と衣服の共通項から、大量 生産や大量消費社会の姿を、限られた空間において観る者にイメージ させることができるなど、豊かな可能性をもった作家の作品である。

# 入 選



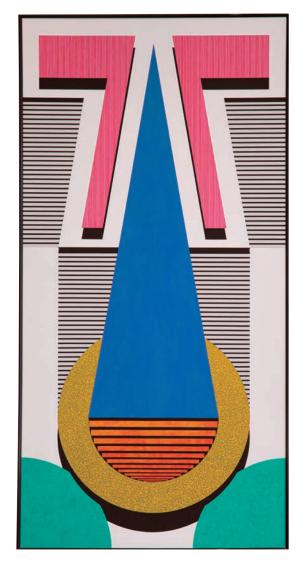
大谷 正幸 おおたに まさゆき ウィトルウィウスの数学謎々 ポスターを額装



**岡崎 未来** おかざき みらい 空と線 XIX パネル、白麻紙、水干絵具、木炭



**星野黒 輝昭**ほしのくろ てるあき
孤高の狩人
紙、パネル、インクジェットプリント





**木村 展山** きむら てんざん **えらあこうど**箱 5 ミクストメディア

大高 渉 おおたか わたる シンフォニー。 アクリル絵具、クレパス、 画用紙、ボール紙



**片山 香帆** かたやま かほ

pupa

油彩、オイルクレヨン、キャンバス



**平子 暖** ひらこ だん

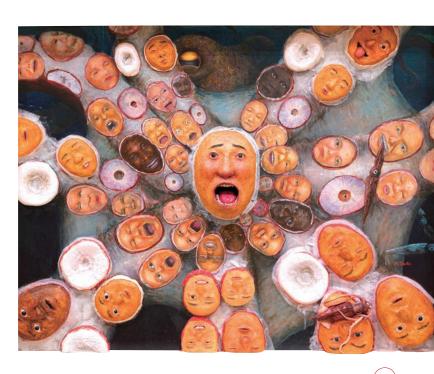
左下から右上に向かって線を引いていく 木製パネル、アクリルマーカー、キャンバス

彩蘭弥

あらや

刻の使者

和紙、岩絵具、墨、金箔、白金箔、銀箔



**中村 大樹** なかむら だいき

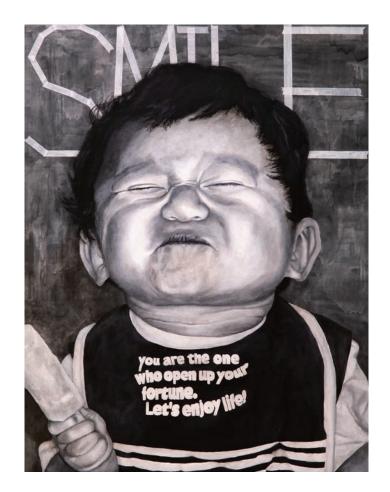
フェイス A

パネル、アクリル絵具、樹脂



永井 雅人ながい まさと風の誕生Ⅲ銅版画、和紙



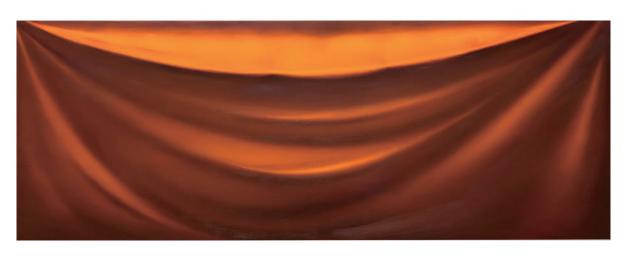


**榮村 莉玖** えいむら りく eternally 油彩、キャンバス

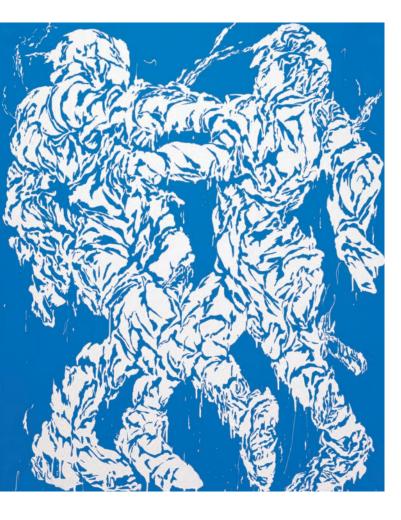
**野﨑 粧子** のざき しょうこ

白い病

木製パネル、アクリルガッシュ、 ハードジェルメディウム



**坪井** 康宏 つぼい やすひろ plan-Garnier 油彩、キャンバス



**中ぞの 蝶子** なかぞの ちょうこ

### being II

奉書紙、壇紙、墨、越前手すき和紙(くず入り)、 越前手すき強制紙、顔料、アクリル絵具、パステル、 メディウム

**笹本 明日香** ささもと あすか

標識【揺蕩】 ペンキ、キャンバス



**秋山 早紀** あきやま さき 犬犬、たまにパン <sub>油彩、キャンバス</sub>



**井上 咲香** いのうえ さきこ 面影の対話 <sub>油彩、キャンバス</sub>



しょうじ まさる

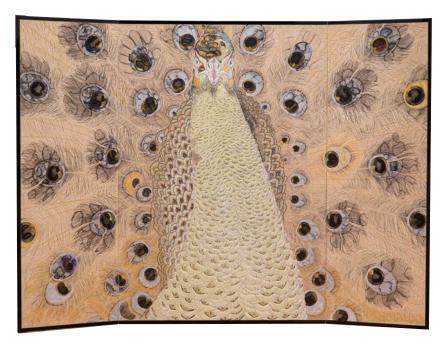
そこに、愛はありますか。MOMINICATION 揉みにケーション = MOMU 揉む× COMMUNICATION 廃棄本、机、エピソードシート(廃棄本提供者より聞き取ったシート)

**長尾** 真莉子 ながお まりこ かざる糸 - 菫青石 -<sup>羊毛、木材</sup>



Masutani May ますたに めい ONE WITH ガラス





**坂本 英駿** さかもと ひでとし 孔雀 三曲屏風、紙本彩画



**小塚 康成** こづか やすなり

No title 雁皮紙にヴァンダイクプリント



下崎 滋彦 しもざき しげひこ 祈りの誤差 石、木、鉄金具



村上 佳穂 むらかみ かほ What are you? ミクストメディア

**富井 弥樹** とみい みき 種 ガラス、磁土



浦 真斗花うら まどかサイクル サイクルミクストメディア



田中 郁聡 たなか ふみあき 来しかたに咲く花 楠木



**菊池** 繭子 きくち まゆこ 樹を泳ぐ 刺繍、編み物



**齊藤 隆** 僕が小夕 さいとう たかし 黒い紙袋、

僕が小矢部に来た証拠 黒い紙袋、ビニール袋に入った小矢部の水(129個)



近藤 洋平 こんどう ようへい 通り雨 ステンレス



**小畑 亮平** おばた りょうへい 行為の気配 シリコーン樹脂



渡邉 楽 わたなべ らく 依存の客観視 ミクストメディア

# 入賞・入選作家一覧

# 大 賞 (小矢部市長賞)

<インスタレーション> 園部 惠永子 (東京都)

# 特別賞(北日本新聞社賞)

<インスタレーション> 中井 輪 (石川県)

# 特別賞(小矢部市企業協会長賞)

<インスタレーション> 古屋 真美 (東京都)

### 入選

### <平面>

大谷 正幸 (石川県)	岡崎 未来 (神奈川県)	星野黒 輝昭 (富山県)	木村 展山 (岡山県)
大髙 渉 (香川県)	片山 香帆 (東京都)	平子 暖 (埼玉県)	彩蘭弥 (東京都)
中村 大樹 (石川県)	永井 雅人 (東京都)	榮村 莉玖 (山形県)	野﨑 粧子 (神奈川県)
坪井 康宏 (東京都)	中ぞの 蝶子 (神奈川県)	笹本 明日香 (東京都)	秋山 早紀 (埼玉県)

井上 咲香 (広島県)

### <立 体>

しょうじまさる (宮城県)	長尾 真莉子 (茨城県)	Masutani May (富山県)	坂本 英駿 (石川県)
小塚 康成 (愛知県)	下﨑 滋彦 (福井県)	村上 佳穂 (東京都)	冨井 弥樹 (愛知県)
浦 真斗花 (富山県)	田中 郁聡 (富山県)	菊池 繭子 (富山県)	

# <インスタレーション>

齊藤隆(山形県)	近藤 洋平 (滋賀県)	小畑 亮平 (大阪府)	渡邉 楽 (富山県)

■実行委員会 栢元 剛 野澤 正幸 前田 智嗣 津山 玄亮

埴生 雅章 野澤 敏夫 山本 興山 高木 利一 有澤 和雄 堀澤 忠志 高田 英樹

アートハウスおやべ事務局

主 催 アートハウスおやべ((公財) クロスランドおやべ)

共 催 第4回公募 アートハウスおやべ現代造形展実行委員会、北日本新聞社

後 援 富山県、小矢部市、小矢部市教育委員会、小矢部市芸術文化連盟、NHK 富山放送局、

北日本放送、富山テレビ放送、チューリップテレビ、FM とやま、エフエムとなみ、となみ衛星通信テレビ

協 力 小矢部市企業協会

助 成 公益財団法人朝日新聞文化財団

■ 企画・発行 アートハウスおやべ

集 第4回公募 アートハウスおやべ現代造形展実行委員会

■デザイン 薮 道子

■ 写真撮影 松藤智恵

